

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ユニットに理念を掲示し共有している。理念に沿ったケアができていないか、ユニット会議で職員間で確認し合い、管理者、ホーム長と相談してケアの実践につなげられるよう努めている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の馴染みのあるスーパーに買い物に行ったり、寺社や公園などにドライブや散歩に出かけている。地域の祭りなどの行事に参加し、町会の防災クラブと合同での避難訓練を行っている。隣の幼稚園との交流もある。	グループホームとはどんな施設なのか聞かれることがあり、他の施設との違いがよくわからない。説明が難しいので教えてくれたら助かる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	役場や家族、地域の方に参加を呼びかけ運営推進会議を開催している。会議では参加者とホームの運営状況・サービス・生活の様子を報告し、その時々の議題について意見交換を行い相互の理解を深めている。	コロナ禍ということもあり、実際に集まったの話し合いはできていない。お便りを通して現状を知らせてもらっている。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護保険証の申請など諸手続きに役場まで赴いており、運営推進会議の参加もお願いしている。生活保護の方もいるため、地域包括支援センターや県職員と連携をとってサービスの向上に活かしている。役場主催の研修に参加している。	会議には町の職員も参加しているので、福祉に関することが聞けるいい機会だと思う。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日中は玄関の施錠は開放し、自由に入ることができるようになっている。拘束するのではなく、なぜそのような言動に至るのか利用者の視点で思いをくみ取り、理由を探ることを大切にしている。利用者の心身の状態によって、外出の際には見守り、同行している。		A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	身体拘束は物理的拘束だけではなく、利用者の心理的拘束もあります。研修や勉強会を通じて、スピーチロック、ドラッグロックの視点も意識を高めていかれることを期待します
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされること	A. 十分にできている ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の身体に異常が無いか、虐待がないか職員間で確認している。外傷などあればヒヤリハットを記入し、職員間で		A. 十分にできている B. ほぼできている ⓑ. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者視点、家族視点及び認知症ケアの視点からの虐待の意味を職員間で共有してみてください。職員側で出来ていると考えていても、視点の違いにより感じ方は変わってきます。また、預り金

		とがないよう注意を払い、防止に努めている		話し合い原因と今後の対策について検討している。			がありますので、経済的虐待についても学びを深めてください。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	成年後見人制度について実際に活用している利用者があり、行政機関や後見人となっている司法書士・行政書士と事例によって相談している。管理者が津幡町の権利擁護部会に出席している。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所前に可能なら本人、家族ともに施設内を見学し納得して頂けるようにしている。契約の際は原則、管理者、主任立ち会いの下、契約書を読み上げて説明を行い、現状での不安や疑問を尋ね、福祉用具を含めた介護、医療の面でも必要な支援について話し合っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日頃の様子について毎月お手紙で伝えており、利用者本人や家族から意見があれば、管理者に報告し職員間で原因、改善点がないか話し合っている。運営推進会議や面会時に家族の要望や意見を聞き、運営の反映に努めている。家族にユニットの携帯電話の番号をお知らせし、気軽にかけただけようお話している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家族の視点に立った説明をおこない、要望・意見を聞くことが大切です。管理者・主任の努力を期待します。 コロナ禍でもあり、なかなかご家族との接点が少なくなっています。このような状況下でもご家族の意見をお聞きする方法を考えてみてください。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は職員の意見、提案を会議や個別で聞いている。管理者会議を通じて管理者は代表に意見を伝えたり、事例によって管理者、主任が代表に連絡している。代表が全体会議やユニット会議に出席することもある。懇親会、研修を通じてコミュニケーションをとり意見が言いやすい工夫している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の健康診断を年に2回行っている。有資格者手当、賞与、昇給など向上心をもって働きやすい環境を整えている。コロナ禍における職員のストレス対策の一環として、飲食代の半額支給など		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	福利厚生の改善、給与基準の向上等の動きがあり、環境整備を整えている途上段階です。一方で管理者・主任の業務負担が大きく、軽減する組織作りが必要を思われます。

				の取り組みをしている。福利厚生が充実している。			
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在コロナ予防のため自粛しているが、法人内外の研修に参加し、法人内の勉強会や研修も積極的に開催している。研修によって費用の補助を行い、参加者は資料や報告書を提出し共有するようにしている。		A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者はリーダークラスの力量のアップを目指すよう期待します。OJT、OffJTを計画的に活用できる体制を整えてみてはどうでしょうか。また職員間での知識、技術の共有ができる体制作りも検討してみてください
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	Ⓐ. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	管理者は地域連絡会議に出席し、地域の同業者との意見交換を行っている。入居希望の方との面会や情報提供について他施設を訪問、空き情報を伝えたり連絡をとっている。地域便りを配布しホームの現状をお知らせしている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者主体である意識し、それぞれの個々の生活スタイルを大切にしている。生活するなかで外食やドライブなど共に楽しみながら関係性を築いている。料理や裁縫などアドバイスを頂く事もある。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている Ⓐ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	馴染みの人や場所との関係継続を心がけている。馴染みの商店や理容店に行ったり、ホームに知人や親戚が訪ねてくることもある。自宅へのドライブや片付けにいく利用者もいる。親族の葬儀に出席したり、家族と自宅や外食に行くこともある。	コロナ禍で今は面会できないのは残念だが、仕方ないことだと思っている。実際に顔が見れないことに不安を感じている。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	各利用者の言葉や表情から、どのような思いがあるのか考察し記録している。ライフサポートワークを実践しながらユニット会議にて意見を交換し、利用者本位の支援を目指している。希望や意向が表現できにくい方に対して、関係性を築い			

				ていなかで仕草や態度からくみ取れるよう努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の必要な支援を見極め、ライフサポートプランを作成し、本人の思いを考察した個別記録から評価、要望、課題についてユニット会議等で話し合っている。プラン作成、モニタリングの際には家族に説明し意見を求め、時に協力を得ながら、共に支え合えるよう努めている。	運営推進会議では具体的な話はしていないが、ホームのケアの考え方を聞くことがある。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	具体性に欠けていて(客観的)、すべての職員が統一した解りやすケアに結び付く内容の記載が必要と感ずます モニタリングの KPT 法をもう少し活用するとプランが具体化します
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思いや日々の様子を中心に考察をふまえた記録を行い、申し送りしながら共有している。ユニット会議にて個々の支援の見直しを行っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	考察の記載を実践、ケアプランに活用してみてください。付箋を活用したモニタリングは有効なので定期的に行うことを期待します
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立は決まっておらず、その時に食べたい物を利用者と相談しながら決めている。買い物、ドライブ、自宅訪問、外出など外出支援を行っている。嚥下の状態の悪い方などと店側とも打ち合わせをして外出に行っている。家族との外出を楽しまれる方もいる。	今はコロナ禍で行けないが、県外までのドライブなどに行ってくれているのが嬉しい。とても楽しそうに見えた。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月地域便りを行政機関や病院、スーパー、公民館などに配布しホームの様子をお知らせしている。町内の防災クラブと協力して合同での避難訓練を行っている。役場、町会長、幼稚園、民生委員など招いて運営推進会議を定期的に行っている。隣の幼稚園との交流もある。	会議開催時には幼稚園の先生や町会長、役場の人も来てくれているので安心している。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ホームの提携医が 24 時間連携による訪問診療が中心になっており、定期受診以外にも体調の変化についてや服薬の相談をしている。症状にあわせて主治医と連携し、精神科などの専門医への受診を行っている。			

22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入院時にはサマリーを提供している。お見舞いに行ったり、治療経過など記録し共有している。本人の生活の質を考えながら早期退院に向け、病院側と連絡を取っている。家族の同意を得て病院側とのカンファレンスに参加している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	病院との連携、ご家族の意向の確認等、しっかりと行われています。ご本人の意思が一番大切なので、その点に配慮しながら今後も継続をお願いします
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	終末期になる前に、延命についてアンケートで家族の意向を把握している。終末期を迎えた方に関して、本人も家族も後悔がないよう、連携医、訪問看護を含めたホームで可能な支援をふまえて話し合う機会を持っている。終末を迎える過程の中で家族の医療や介護の要望の変化があれば、その都度柔軟に対応できるよう取り組んでいる。ターミナル期であっても、これまで過ごしてきた生活の質を大切にしよう努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	疾病等に左右されずに、ご本人の意思を大切にしながら重度化、終末期ケアをご家族と話われています。職員間でもその情報を共有出来るように期待します
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	急変時は主治医、上司、家族に連絡し適切な対応を行うようにしているが、状況判断など対応の実践力にまで至っていない状況である。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主に夜間想定で定期的に避難訓練を行っており、消防署員立ち会いのもと行うこともある。地域の防災クラブと合同での避難訓練も行い、ホームの状況も知ってもらっている。	定期的に避難訓練をしているようなので、安心していきます。実際の災害時では、どのように避難をするのか気になる。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所、地域との協力をおこないながら定期的開催をされています。常日頃から職員間での万が一の時の意識づけ、シミュレーションもおこなうとより万全の体制になります。BCPの早めの策定をお願いします
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者中心の生活が送れるよう、本人の気持ちを尊重しながらプライドや尊厳を重視した言葉かけをしている。更衣やトイレの声かけなどプライバシーに配慮するよう意識している。外出時、面会時など個人情報を守っている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者への声かけや申し送りの言葉遣いや声の大きさに配慮が欠けているように見受けられます。プライバシーの確保や利用者への気遣いへの意識を高めていく必要があります。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で過ごしていた時のような利用者のペースを大切に、柔軟な対応ができるよう心がけている。日課や入浴の制限もなく、ドライブや買い物に出かけたり、			

				自室でテレビを見たりゆっくりと過ごされる方もいる。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	献立はその時の食べたいものを大切に、スーパーのチラシを見たり、料理番組や雑誌を利用者と見ながら季節のものを取り入れた献立を考えている。野菜の皮むきや調理、片づけなどの他、一緒に食卓で食事を利用者と一緒に食べている。嚥下の状態に合わせた食事形態、盛り付けなど美味しく楽しめるよう配慮している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎食のメニューは様々な工夫をされて食事を楽しむ支援をされています。一方的提供だけではなく職員と一緒にすることをより期待します。また特定の利用者に偏らずに、“できそう”な方への支援も期待します。ご本人の生活歴を活用した食事支援(メニューや食事作り)も今後期待します。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの体調や習慣に合わせて食事や水分が確保できるよ支援している。嚥下機能が低下している方には水分の代わりにゼリーを摂取している。事例によって水分、食事のチェック表をつけている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立している方に対しては声かけしている。介助、見守りが必要な方には起床時、就寝時に義歯の洗浄を介助し、残差物がないか確認している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	夕食後の口腔ケアはしっかりと行われています。特に起床時は口腔内の乾燥、汚れがありますので、あらためてその重要性も職員の皆さんで共有しケアにつなげてください
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄の間隔や本人からの様子を見てサインを汲み取り、声かけてトイレでの排泄を支援している。本人の自尊心にも配慮しながらさりげなく声かけしている。下剤服用時には記録して申し送って様子を見ている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	トイレで排泄する支援、排泄用品の選定等をしっかりと職員間で共有されて行われています。夜間での排泄支援(睡眠と排泄の兼ねあい)は、職員間での方向性をしっかりと話し合い、ご本人の意向もしっかりと確認して支援の方向性を話し合ってください
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日時は決まっておらず、利用者の習慣にあわせて毎日入浴ができる。間隔を見て声かけをしているが入浴が嫌いで空いてしまう方もいる。無理強いをせず清拭をしたり、タイミングやどのような声かけが良いか検討している。皮膚疾患の方などに清潔の保持のため説明しながら声をかけている。			

33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	居室やリビングで自由に休ま れている。昼夜逆転気味の方も いるが、日中の生活をいかに高 めて夜に質の良い睡眠ができる か、外出支援など取り組んでい る。就寝時間は決まっておらず、 それぞれの習慣にあわせてい る。エアコン、加湿器を設置して 湿度や温度が適切になっている か注意している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の 目的や副作用、用法や用量につ いて理解しており、服薬の支援 と症状の変化の確認に努めてい る	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	与薬時には確認雄声かけを常 に行っている。薬の情報、副作 用について主治医の他、薬剤師 に相談している。薬の変更時 には、変更の理由と様子の変 化が無いか記録して申し送って いる。		A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	かかりつけ薬剤師制と導入して、 主治医とも連携して服薬内容、 方法等を検討されています。 全ての職員が薬への意識が高 くなることを期待します
35	役割、楽しみごとの 支援	張り合いや喜びのある日々を 過ごせるように、一人ひとりの 生活歴や力を活かした役割、嗜 好品、楽しみごと、気分転換 等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	それぞれの好みや生活習慣など を記録に残している。個別のお 菓子や果物などの嗜好品を 買いに行くほか、散歩や自宅 の掃除、ドライブに行っている。 家事が得意な方には調理や片 付けを一緒に行っている。	好きなお菓子を買に行ったり、 家にいたらどこにも出かけな かったと思うので、ホームだ とどこでもドライブに連れて ってくれるので、本人にとって 良いのではないかと。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望に そって、戸外に出かけられる よう支援に努めている。また、 普段は行けないような場所 でも、本人の希望を把握し、 家族や地域の人々と協力しな がら出かけられるよう支援 している	A. 十分にできている B. ほぼできている Ⓒ. あまりできていない D. ほとんどできていない	買物、ドライブ、外食など一緒 に日頃から外出するよう取り組 んでいる。ドライブでは季節に あわせて海や山、観光として お寺や神社などに行き軽食を 楽しんでいる。自宅の片付け や田んぼの様子を見に行くこ ともある。現在はコロナ禍で の自粛をお願いしているが、 家族との外出や外食を楽し まれる方もいる。	能登の方や県外にも外出して いるようで職員は大変かもしれ ないが、ありがたく思ってい る。車イスの人など外出支 援ができているのか気になる。		
37	お金の所持や使う ことの支援	職員は、本人がお金を持つこ との大切さを理解しており、 一人ひとりの希望や力に応じ て、お金を所持したり使える よう支援している	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人が自分の財布で管理してい る方もいるが、ほとんどがホ ームでの管理となっている。 財布が見当たらないことも あり、本人と一緒に居室を探 すこともある。生活保護の方 もおり、買い物の際に後見 人に相談することもある。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自ら が電話をしたり、手紙のやり 取りができるよう支援してい る	A. 十分にできている Ⓑ. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コードレス電話を自由に使う ことができる。携帯電話を個 人で所有している方もおり、 自室から家族に連絡をとって いる。職員が伝言を頼まれた り、手紙を預かることもある。			

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	家庭的な雰囲気を大切にし、利用者の作品や写真をユニット内に飾ったり、季節の花などテーブルに置いている。廊下やリビングには手すりがついており、洗面所や台所は使いやすいよう低めに設計されている。リビングの温度、湿度の調節を利用者に相談しながら加湿器や換気をして配慮している。夜間は時間が分かりやすいようリビングは照明を消している。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員用のスペース？に乱雑にファイルや書類、個人名の記載のある書類が置いてあり利用者が活用しにくい空間となり、また見栄えも悪いです。洗濯物も配慮の欠ける干し方もあり、改善を期待します。 施設掲示物も古いものや季節感のないものも貼られているようです
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の背景にある思い、願いを日々考えながらの支援が十分とはいえない。ケース記録の活用や職員会議等で情報の共有をし、ご本人の思いを探っていききたい			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	センター方式を十分に活用出来ていないです。改めてセンター方式を活用し、生活歴やご本人を取り巻く環境を大切にしたい支援をおこないたい			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	医師、看護師、薬剤師等と日頃より連携をとり支援をおこなっています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現在の他職種での連携のネットワークをOT、PT、ST等にも広げていける事を期待します
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	どこかで施設のペースになっているのではと感じています。改めてご本人のペース、習慣を見直していききたいです			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設での安全性やご本人の混乱を理由に、なかなか持ってこれない事も多いです。居室レイアウトは少しでもご自宅に近づけるよう(ベッドの向き、タンス位置等)にしています		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員側の安心、安全を優先に進められていることも多いようです。馴染みのもの、馴染みのものを使用した習慣はご本人にとって生活の安心につながります

45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ● C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍で十分な支援が来ていません	コロナが収束したら積極的な参加をお願いします		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている ● C. あまりできていない D. ほとんどできていない	しっかりとしたご本人の評価が出来ておらず、改めて評価する必要があります。出来そうなことにも視点を置き、職員間で話し合いをします			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	皆さんのコロナ禍でのストレスは想像以上で、いきいきと過ごして頂くところまで出来ていないのが現状です		A. 十分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	非日常的な楽しみに頼るだけでなく、日常の中でのなにげない利用者との会話、一緒に過ごす時間も大切にしてください
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない ● D. ほとんどできていない	コロナ禍で十分な支援が来ていません	コロナが収束したら積極的な参加をお願いします		
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活はそれなりに送れていると感じるが、一人ひとりの生活の質、ご本人の思いを考えるとまだまだ見直すことが多いことに気づきました	毎月 2 回のお便りから、皆さんの大変良い表情をされていることを拝見させて頂きました。これからも利用者さんのために頑張ってください	A. 十分にできている ● B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ケース記録やセンター方式を活用、職員間での情報共有を充実させることで、よりご本人の GH での生活はよりよい日々を送ることが出来ます。現状に満足せず今後期待します